

令和元年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 | | | | |
|---------|------------------|--------------|---------------------------------------|---------|
| 事務事業名 | 障がい者福祉センター運営管理事業 | 担当課 | 社会福祉課 | |
| 総合計画 | 政策 | 健やかに暮らせるまち | 計画期間 | 平成 5年度～ |
| | 施策 | 障がい者（児）福祉の推進 | 種別 | 任意の事務 |
| | 基本事業 | 福祉施設サービスの充実 | 市民協働 | |
| 予算科目コード | 01-030102-23 単独 | 根拠法令・条例等 | 守谷市障がい者福祉センターの設置及び管理に関する条例 同条例施行規則 | |

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

| 背景（なぜ始めたのか） | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） |
|---|---|
| <p>市内在住の障がいのある方に対して障がい福祉サービス及び障がい児通所支援を提供するため、平成5年に守谷市障がい者福祉センターの設置及び管理に関する条例を制定し、守谷市障がい者福祉センターを開所した。平成20年には同条例を全部改正し、同年4月から指定管理者による管理が行われている。</p> | <p>障がい者総合支援法及び児童福祉法の規定に基づき、以下のサービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定相談支援：障がい者やその家族の要望等を踏まえて、障がい福祉サービス利用者に係る利用計画を作成するとともに、事業者との連絡調整を行う。 ・生活介護：食事、排泄等の介護、日常生活上の支援と軽作業等の生産活動や創作活動の機会を提供する。 ・就労移行支援：就職の希望がある利用者に対し、一定期間、就労に必要な知識及び能力向上の訓練をする。 ・就労継続支援B型：就労や生産活動の機会を提供し、一般就労に必要な知識能力が高まった方については、一般就労への移行に向けて支援する。 ・放課後等デイサービス：就学中の障がい児に、放課後等の時間に居場所を提供し、生活能力の向上及び自立を促進する訓練を行う。 |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか） | |
| <p>市内在住の障がいのある方に対して障がい福祉サービス及び障がい児通所支援を提供し、もって障がい福祉の増進を図る。</p> <p>また、事業所の管理については指定管理者制度を活用し、提供するサービスの向上や利用者の拡大を図り、障がいのある方の支援を充実させるとともに、事業運営や事業費の効率化を図る。</p> | |
| （参考）基本事業の目指す姿 | |
| <p>障がい者（児）が、通所施設で、状態に応じた専門的な指導・訓練を受けながら生活できるようにする。</p> | |

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

| 目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定） | 具体的内容とスケジュール |
|---|---|
| <p>障がい者福祉センターの運営を効率的かつ効果的に取り組む必要がある。</p> <p>施設や設備の老朽化に伴い、修繕が必要となっている。</p> | <p>指定管理者の選定を定期的実施する。</p> <p>令和元年度は屋根及び外壁の改修工事を実施する。</p> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策） | |
| <p>今後も指定管理者制度を活用する。</p> <p>今後の修繕に備え、修繕計画を立てる。</p> | |

次年度のコストの方向性（→その理由）

| | |
|--|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減 | 令和2年度は計画的な工事の実施はないため、経費は減額となる。 |
|--|--------------------------------|

| H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り） | |
|--|---|
| H30年度の評価（課題） | R01年度 of 取組（評価、課題への対応） |
| 指定管理者制度に基づき、障がい者福祉センターの効果的かつ効率的な管理運営を実施している。 施設の老朽化により屋根と外壁改修工事が必要となった。 | 指定管理者により、障がい者福祉センターの効果的かつ効率的な管理を実施した。 設備の老朽化により屋根・外壁改修工事を実施した。 |

| 評価（指標の推移、今後の方向性） | | | | | |
|---|---|-------|-------|-------|----------|
| 指標名 | 基準値（H26） | H30年度 | R01年度 | R02年度 | 目標値（R03） |
| 利用登録者数（年度末） | 65.00 | 74.00 | 73.00 | 73.00 | 73.00 |
| | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 成果の動向（→その理由） | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 | 当該施設の運営については、指定管理者を活用し、障がい福祉サービスの向上や利用者の拡大を図るとともに、障がい者支援の充実と、事業運営の効率化が図られている。 | | | | |
| 今後の事業の方向性（→その理由） | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 | 指定管理者制度により障がい者福祉センターの効果的かつ効率的な管理運営を継続して実施する事業である。 | | | | |

| コストの推移 | | | | | | |
|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 項目 | | H29年度決算 | H30年度決算 | R01年度決算 | R02年度予算 | R03年度見込 |
| 事業費 | 計 | 31,387 | 20,785 | 29,157 | 21,053 | 21,053 |
| | 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 20,625 | 8,294 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 31,387 | 160 | 20,863 | 21,053 | 21,053 |
| 正職員人工数（時間数） | | 64.00 | 59.00 | 202.00 | 0.00 | 0.00 |
| 正職員人件費 | | 262 | 246 | 829 | 0 | 0 |
| トータルコスト | | 31,649 | 21,031 | 29,986 | 21,053 | 21,053 |